

核兵器廃絶と平和の大切さを訴える

コロナウィルスの感染拡大で2年程中止して、昨年から再開した反核平和マラソン。今年も去年と同じコースで、クロスランド小矢部から県境の天田峠を越えて石川県の九折（つづら）集落までの6.5kmを走り、核兵器廃絶と平和の大切さを沿道の歩行者やドライバーに訴えました。

ランナーは8人、先導係、給水係などのサポーターが4名でした。

『核兵器をなくそう』と書かれた黄色のゼッケンを胸と背中に付けて走りました。

国道8号線の倶利伽羅トンネル手前の交差点からは天田峠へのバイパス車道に入って走るのが恒例のルートでしたが、交差点の山腹の擁壁工事で通行止めとなっていたため、8号線反対側の狭い林道を通らなければなりませんでした。

その林道は軽四がやっと通れる程の道幅で、傾斜も屈曲も急だったので、先導車や伴走車は先に倶利伽羅トンネルを石川県側に抜け、天田峠まで戻ってランナーたちを待つことにし、代わりに、事前にコースを歩いて調べて熟知しているサポーターが徒歩でランナーを案内することに予定していました。ところが、当日、地元のおじさんの「最近も熊の姿を見かけた」との話を聞いて、今更コース変更もできないので、クマ避けに皆で大きな声で富山県民謡の『こきりこ』をうなりながら通過しました。昨年も今年も同じ場所が工事中とは何故？、来年こそはバイパス車道を走りたいと思います。



↑小矢部市内を走るランナー



↑県境の天田峠で水分とカロリー補給

休憩地点の天田峠ではランナーたちは、冷やしたフルーツ、ミネラルウォーター、パンなどを摂り、汗を拭き、石川県のランナーが待つ九折集落の引継ぎ場所へ向けて最終区間を走りきり、集会にเข้าร่วมしました。

プーチン政権下のロシアのウクライナ軍事侵攻が昨年2月24日に始まって1年4ヶ月余りが過ぎ、今もウクライナの南部では戦闘が続いていて、ウクライナ、ロシア双方の兵士たちが傷つき、命を失っています。一人の最高権力者の意思決定が地獄のような世界に多くの人間を落とし込んでゆく。そんな権限や資格がどこにあるのか。

理不尽な生死を他人に強いる。こんなことが許される訳がない。何とか戦闘が停止して、裁かれるべき人は、きっちりと裁かれる。そんな時が早く来て欲しいと思います。この反核平和マラソンが少しでも、戦争、平和、について考えるきっかけになってくれればと願います。

リーダーが行方不明？ 冗談でしょう。

そんな事件が三島野スポーツクラブの山行でありました。そんな大失態を起こしたのが私(荒井)でした。この紙上に載せるのも憚られる内容ですが、何かの参考・教訓になればと考えて記載しました。三島野スポーツクラブの会報7月号に書いたものです。

小佐波御前山クリーンハイク登山で起きた山行リーダーの大失態の報告と反省

三島野スポーツクラブ 荒井英治

時間列に従って、当日の状況を述べます。三島野スポーツクラブの参加者は13名で、天気は良好。猿倉山の『風の塔』の下の駐車場から歩き出す。ファミリーコースということもあって、我々以外に、他の家族連れや身軽な服装の若者グループも多くて、にぎわっていた。事前調査をしていなかったのも、サブリーダーの的場さんに先頭をお願いして、リーダーの私は最後尾に付いた。

『風の塔』を目指して登り始める時、私は地図やコンパス、熊撃退スプレー、無線機、携帯電話、クリーンハイクののぼり旗などの小物を所持していたが、使いやすい位置に移し変えながら歩いた。当然、前方を良く見ていなかった。三島野のメンバーの列から少し遅れて間が空き、そこに数人の若者グループが入った。その時点では「どうせ風の塔でメンバーと合流出来るだろう」と安易に考えていた。

ところが『風の塔』まで来て、周りを見渡しても三島野グループの姿は何処にも見えず、先を行っているのかと考えて、遊歩道の道をスピードを上げて歩いた。小走りで歩いたが、10分程歩いても追いつけないので不安になりだし、自分の進路が間違っているのかと思い、地図とコンパスで確認したが、それでもなさそうで、「これは脇道がいくつかあって私がメンバーとは別の道を歩いているのだらうと考え、サブリーダーに連絡を入れなければ」と無線機で呼び出したが応答がなく、携帯電話でも呼び出してみたがそれも反応無しで、下って来る人や、登って来る人に、「10人くらいの登山グループを見なかったですか」と尋ねたが、どの人も「そんな登山グループは見なかった」との返答。どうなっているのか訳がわからず、頭の中が混乱し、とにかくサブリーダーに連絡をと、何度も無線と携帯電話で呼び出しても相変わらず応答無し。

とにかく御前山まで行けば何か掴めるかと期待して急いだが、そこでも何の手がかりも無し。お手上げ状態。途方に暮れていると、まもなくサブリーダーからの携帯がなり、「そこで待っていて」とのこと。ほっとして「先ずはひと安心」と胸を撫で下ろすと同時に「皆にあわせる顔がない、穴があつたらはいりたい」の気分。リーダー失格。

●以上が当時の実態でした。こういう事態を引き起こした原因を、反省と今後の教訓とするため列挙してみます。

原因その1: 先行メンバーの姿をしっかりと視野にとらえ収めていなかったこと。

その2: 無線機の操作が未熟だったこと(事前にセットされていた周波数がずれてしまって通信不能の状態になっていることに気づいていなかった)。

その3:、小佐波御前山は20年程前に他のグループで何回か来た事があったので「事前調査をしなくても何とかなるさ、メンバーの中には何人もこの山に慣れた人もいることだし。」と他人任せの安易な考えがあったこと。以上が思い当たる自分なりの反省点です。

※ 後日の世話人会でこの件について話し合っていた時に、世話人の1人から「荒井さんは最後尾にいて、隊列から距離が離れてしまうことが多い。」と指摘され、ハツとした。他人から言われるまでそんな自覚はなかった。これからはメンバーに迷惑をかけないように、隊列を乱さないよう努めようと思った。

無線機の取扱説明書もしっかりと読んで、慣れておこうと思う。他人任せにせずに。

今回の山行は低山のファミリー登山コースで天候も安定していたので大きな事故にはならなかったが、厳しい登山ルートで悪天候も重なった場合、遭難事故につながる危険性があった。二度とこのようなことがないように心を引き締めて山に向き合っていかなければ反省している。

.....

パークゴルフを始めてみませんか

パークゴルフ教室の扉はいつも開いています。お気軽に参加してください。年度途中からの参加でもまったくかまいません。

パークゴルフ教室（スポーツ連盟富山主催）実施要項

実施方法：呉東地区で1教室、呉西地区で1教室の2教室を並行して開催する。呉東は黒部川河川敷パークゴルフ場、呉西地区は射水市下村パークゴルフ場を会場とし、期間は4月から11月までとし毎月1回ペースで行う。開催日時は毎月『スポーツなかま』に掲載して案内する。参加者は自宅から距離的に近い教室に参加する。期間中2教室合同の交流大会も実施する。

日時：呉東地区教室は毎回第3木曜日（7月は7月20日）午後1時～2時30分

呉西地区教室は毎回第4木曜日（7月は7月27日）午後1時30分～3時

参加費：呉東教室と呉西教室では会場使用料の関係で若干異なりますが大体一回あたり200円～300円です。

※パークゴルフ用具を持っていない方は相談に応じて対応します。

申込みは電話で： ☎080-8695-6639 荒井英治まで。



スポーツ連盟とやまの行事予定

10月15日(日)	スポーツ連盟加盟団体交流会
4月下旬～11月下旬	パークゴルフ教室を期間中、毎月1回開催する
12月3日(日)	第43回定期総会

各クラブの予定

富山ハイキングクラブ

7月2日(日)	大鷲山
7月9日(日)	僧ヶ岳
7月17日(月・祝)	寺地山
7月23日(日)	赤兎山
7月25日(火)～27日(木)	爺ヶ岳～鹿島槍(自主企画)
7月30日(日)～31日(月)	白山(ji 自主企画)
8月6日(日)～7日(月)	尾瀬ヶ原・至仏山
8月12日(土)	立山(雄山)
8月18日(金)～19日(土)	奥大日岳～大日岳(自主企画)
8月20日(日)	木地屋溪谷(沢歩き)

三島野スポーツクラブ

7月9日(日)	明星山
7月21日(金)	雨飾山(自主企画)
7月27日(木)～29日(土)	鹿島槍ヶ岳
8月11日(金・祝)	山の日企画 A 大日岳(日帰り)
8月10日(木)～11日(金・祝)	山の日企画 B 奥大日岳・大日岳(1泊2日)
8月19日(土)～20日(日)	谷川岳

富山ウォーキングクラブ

7月7日(金)	戸出の七夕と旧北陸道(上使街道)
7月16日(日)	呉羽丘陵と安田城
8月20日(日)	上高地(大正池から)